

平成15年度 和歌山県文化奨励賞

にし よう こ
西 陽 子

住 所：東京都練馬区

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：昭和39年

◎業績及び経歴

幼少の頃より赤羽多美代氏に生田流箏曲を学び、12歳より沢井忠夫、沢井一恵の両氏に師事する。

県立桐蔭高等学校在学中の昭和55年に全日本三曲コンクールで入賞。東京芸術大学在学中に大学代表として皇居内桃華楽堂にて、御前演奏をおこなう。

昭和62年から平成3年まで、KAZUE SAWAI KOTO ENSEMBLEのメンバーとして、アメリカ、ドイツ、ロシア、インド等、世界各地で演奏活動をおこなう。

平成5年には文化庁芸術研修員に選ばれ、ソロリサイタルを開催するとともに、箏アンサンブルグループKOTO VORTEXを結成。平成8年にはフィンランドのタンペレ音楽祭でタンペレオーケストラと共演。平成11年より神奈川県立音楽堂レジデンシャルアーティスト「Trio du Monde」のメンバーとして活動、平成13年より西陽子箏リサイタルシリーズ「face」を開始し、各地で大きな反響を呼ぶ。平成14年には、イタリアのミラノで初のソロコンサートを開催し、ソロ・アルバム「fantasma」をリリースするなど世界的に活躍するとともに、地元和歌山で箏曲教室の10周年記念演奏会を成功させる。平成15年ドイツ・ベルリンにおいて「Transonic2003」に出演。

現在、新作初演、国立劇場における復元楽器の演奏、オーケストラとの共演、国内外のアーティストとの即興演奏、美術家や作家・詩人とのコラボレーション等ソロ活動は多岐にわたる。また、「糸」「モノフォニーコンサート」、「アンサンブル

オリジン」のメンバーとしても多数の海外公演を行っている。

伝統と現代の間で、より根源的な視点に立って箏を見つめ、自由でグローバルな発想と感性で箏の音楽を追求している。

■主な表彰歴等

昭和55年 全日本三曲コンクール入賞

平成12年 大桑文化奨励賞